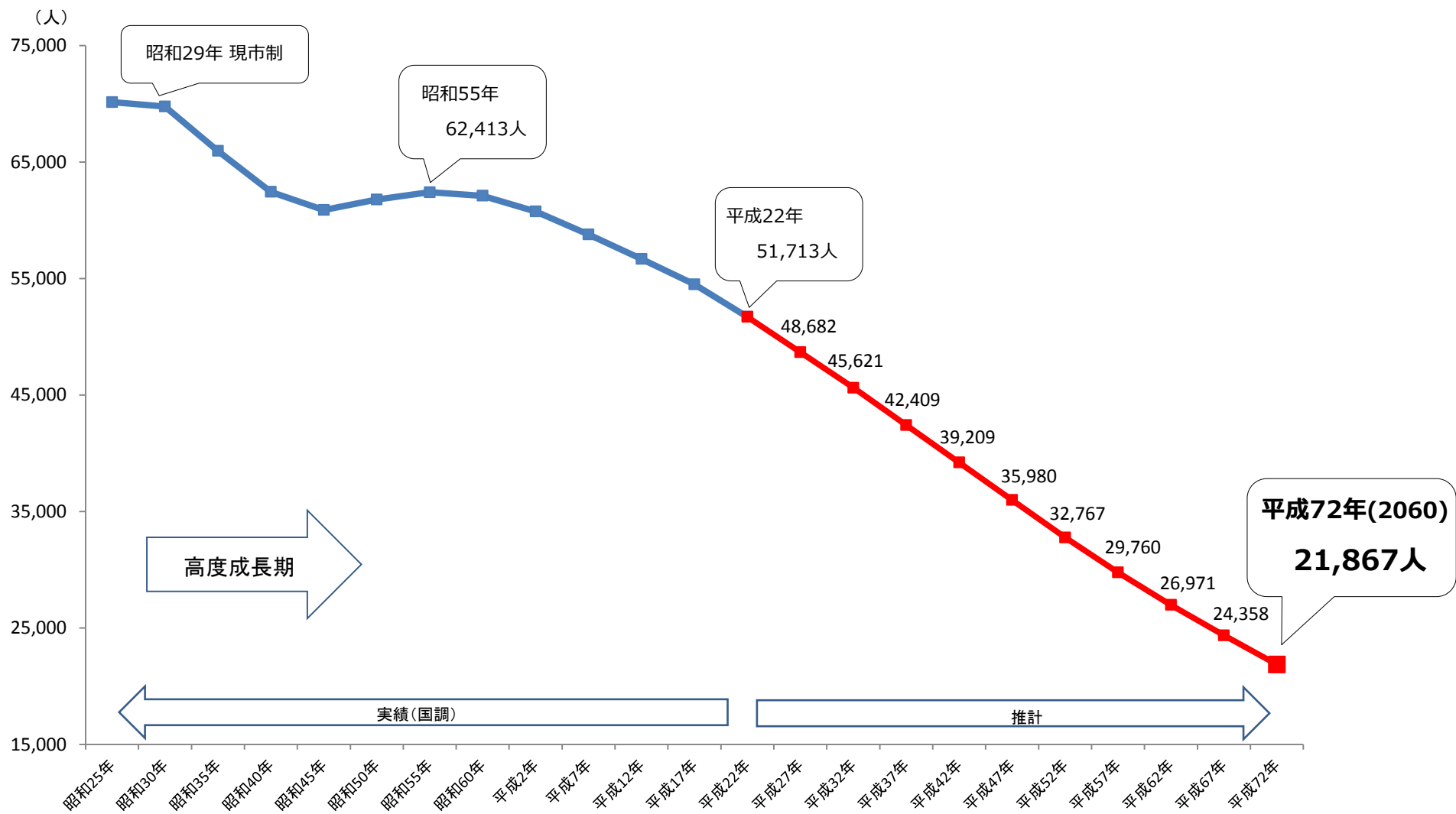


氷見市の人口の推移

資料 E 1

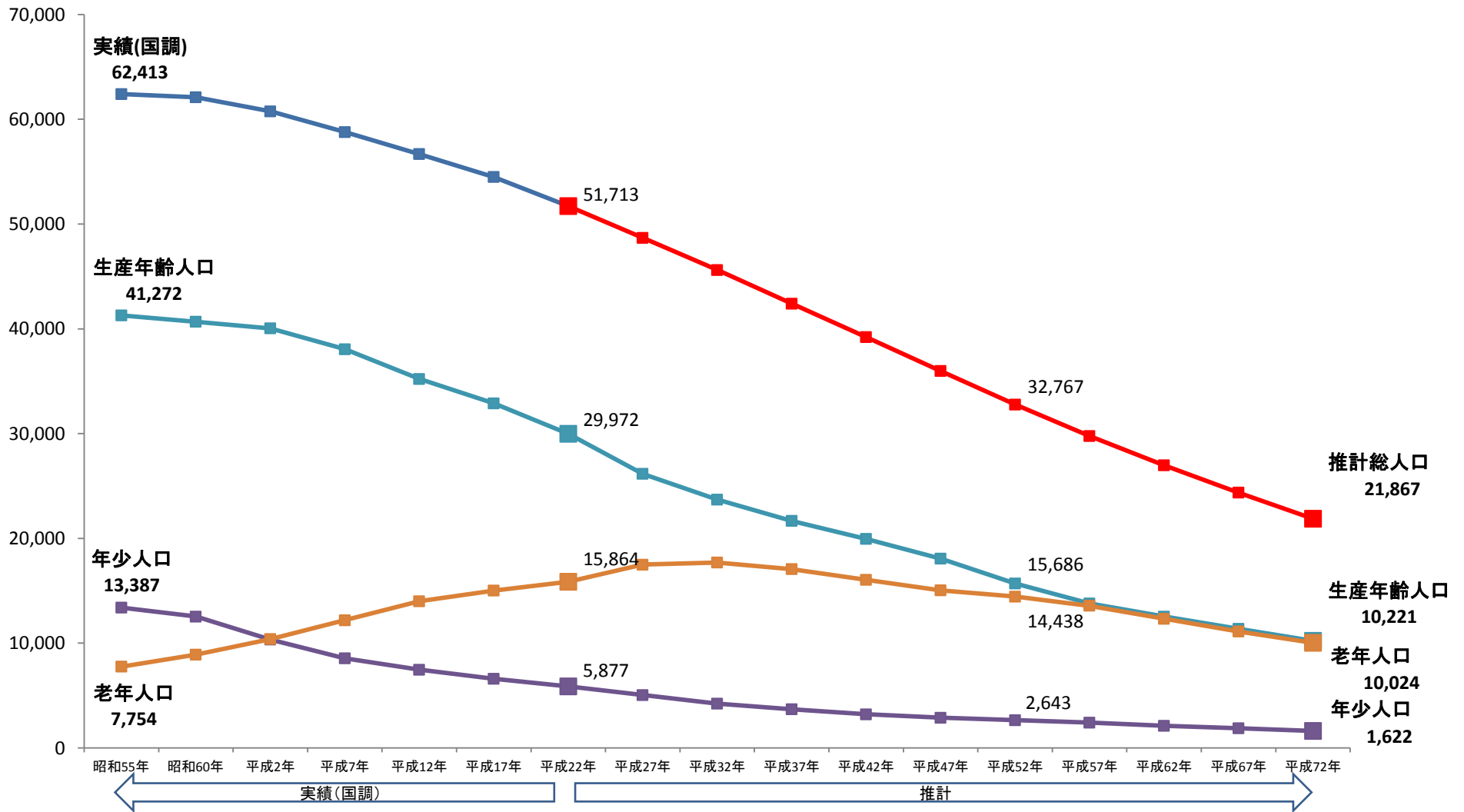


出典：国立社会保障・人口問題研究所推計 ※全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定した推計

氷見市の人口の推移（年齢3区分）

資料 E 2

氷見市における昭和55年度から平成22年度までの人口推移及び平成27年度から平成72年度までの将来人口の推計、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）の3区分についての推移、推計について

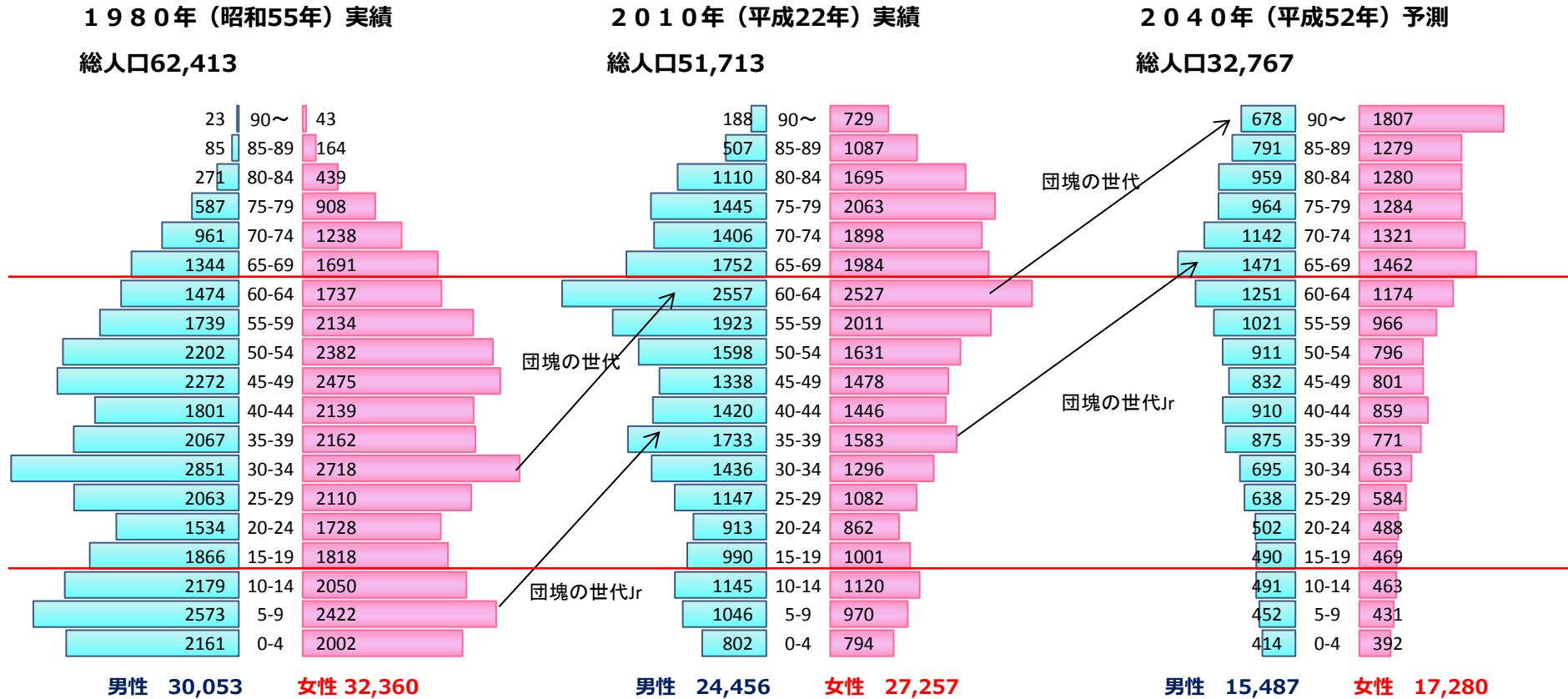


出典：国立社会保障・人口問題研究所推計 ※全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定した推計

氷見市 人口ピラミッドの変化

氷見市の1980年、2010年の人口、2040年の推計人口について人口ピラミッドで比較

資料 E 2-1



区分別人口数の変化

	1980年	→	2010年	→	2040年
年少人口	13,387		5,877		2,643
生産年齢人口	41,272		29,972		15,686
老年人口	7,754		15,864		14,438
総人口	62,413		51,713		32,767

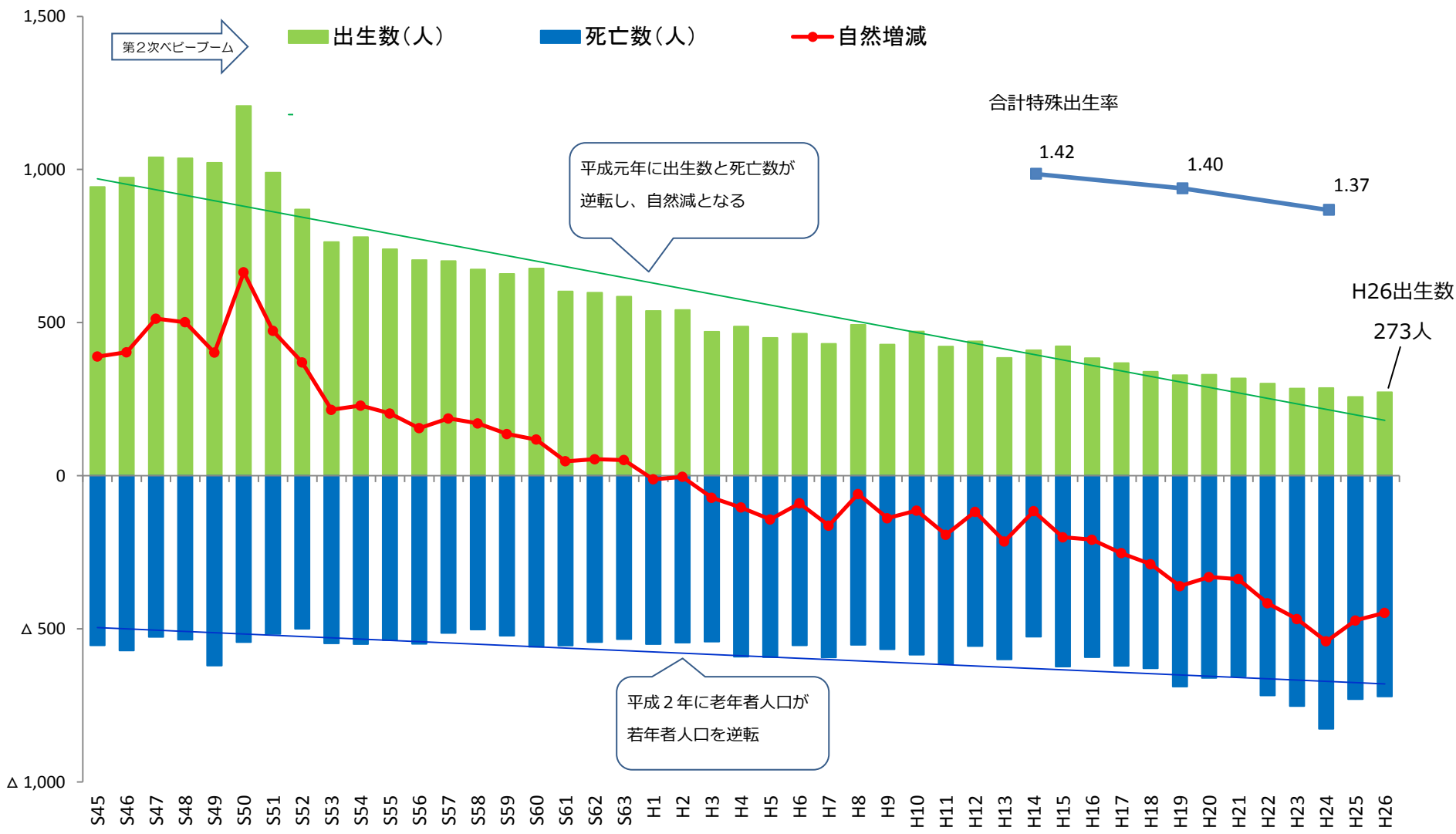
区分別人口比率の変化

	1980年	→	2010年	→	2040年
年少人口	21.5%		11.3%		8.1%
生産年齢人口	66.1%		58.0%		47.9%
老年人口	12.4%		30.7%		44.0%

出典：昭和55年国勢調査、平成22年国勢調査、平成52年国立社会保障・人口問題研究所推計

氷見市の自然増減の推移

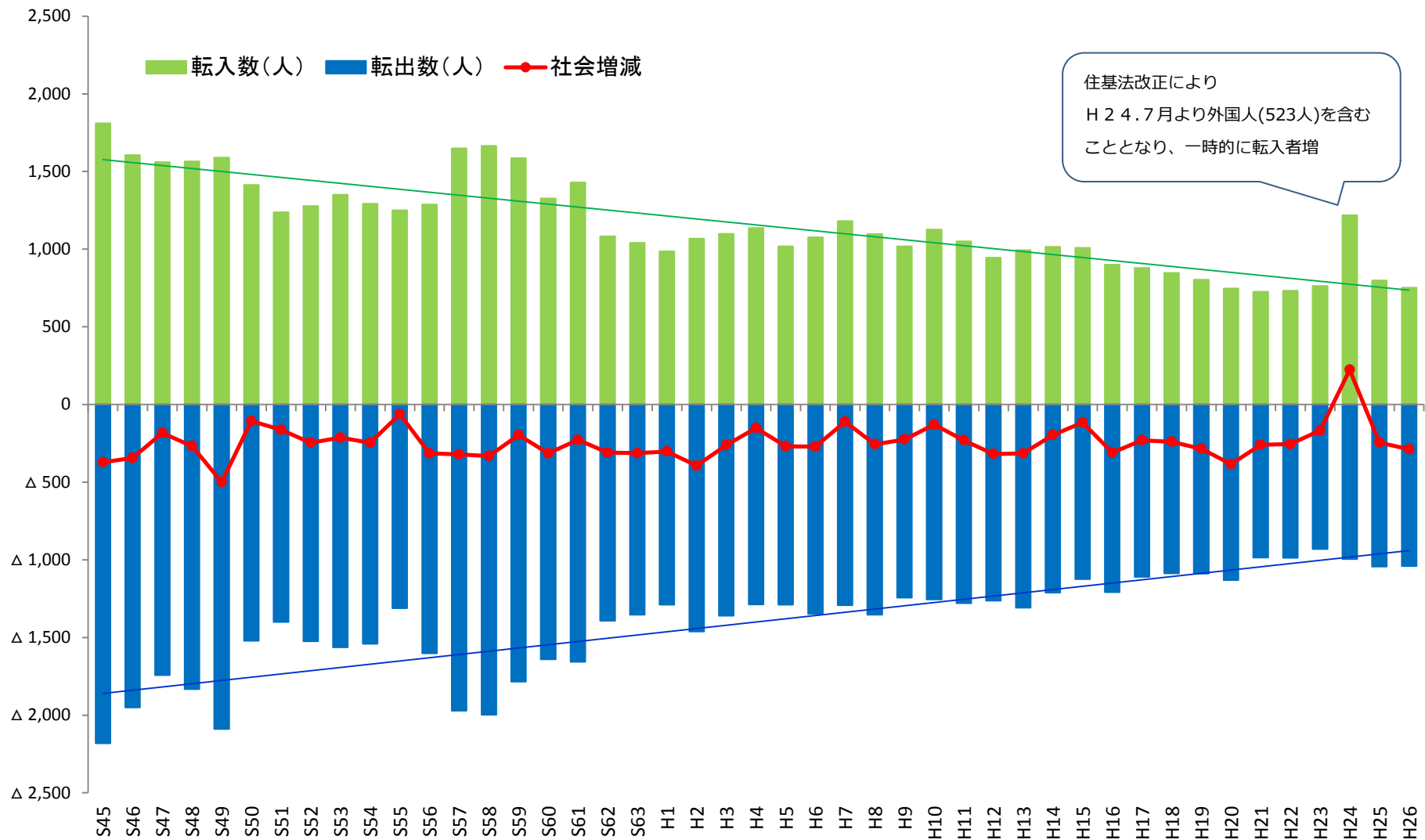
資料 E 3



出典:氷見市の統計

氷見市の社会増減の推移

資料 E 4



出典: 氷見市の統計

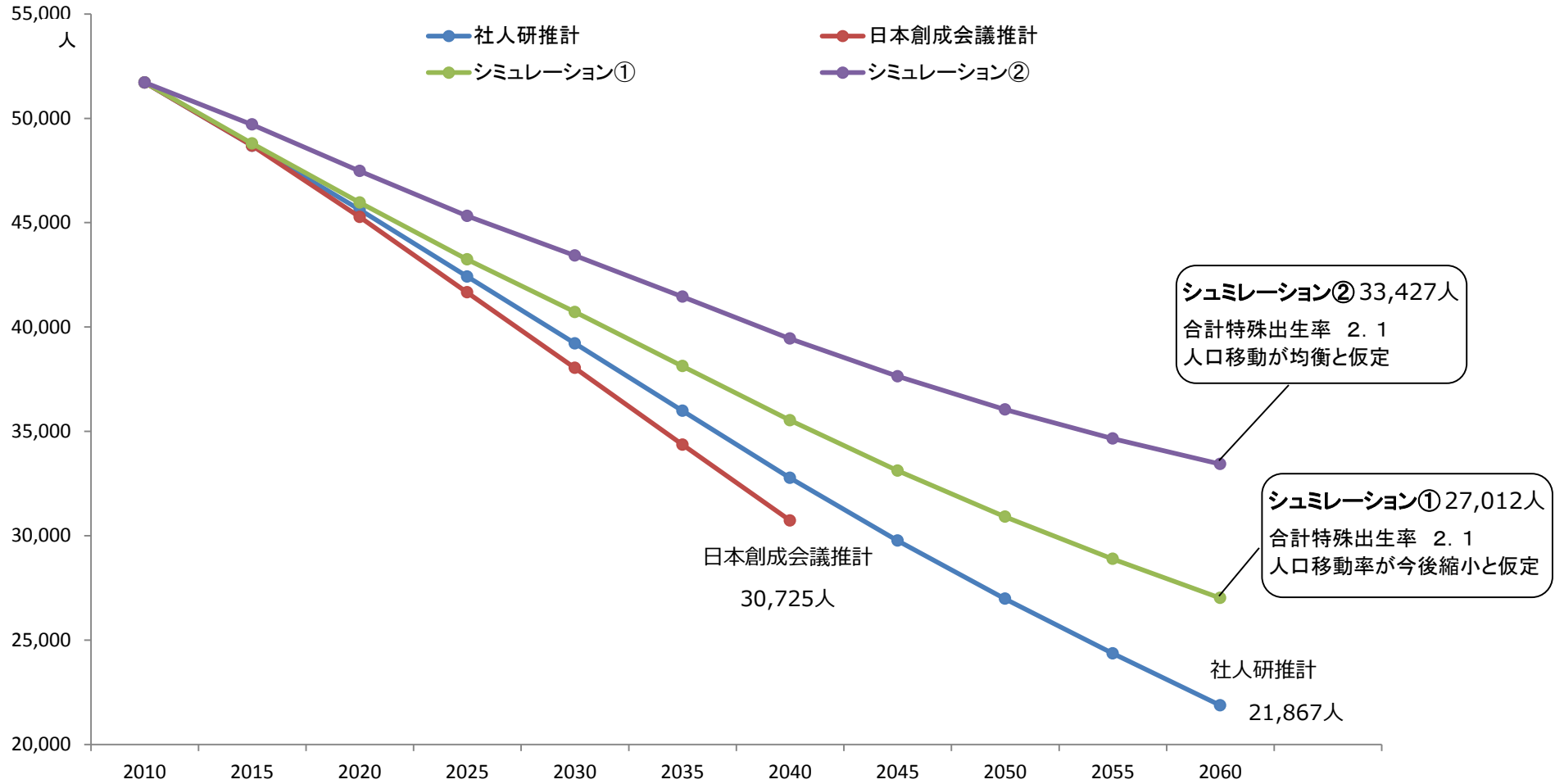
氷見市の人口シミュレーション推計

社人研推計準拠 : 全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定した推計

日本創成会議推計 : 全国の総移動数が、平成22年から平成27年の推計値と概ね同水準でそれ以降も推移すると仮定した推計（日本創成会議推計準拠2040年まで）

シミュレーション① : 合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇したとした場合のシミュレーション

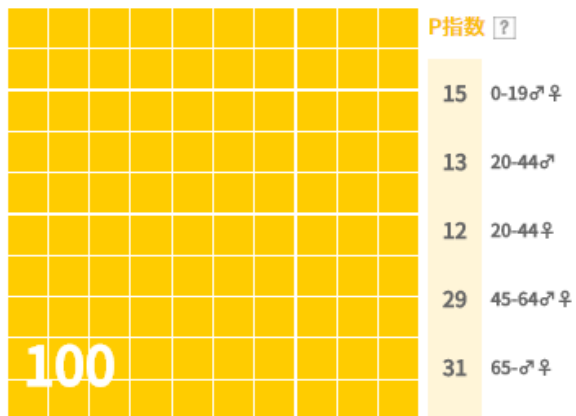
シミュレーション② : 合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇、かつ人口移動が均衡したとした（移動がゼロとなった）場合のシミュレーション



出典 地域経済分析システム
社人研：国立社会保障・人口問題研究所

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市
地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



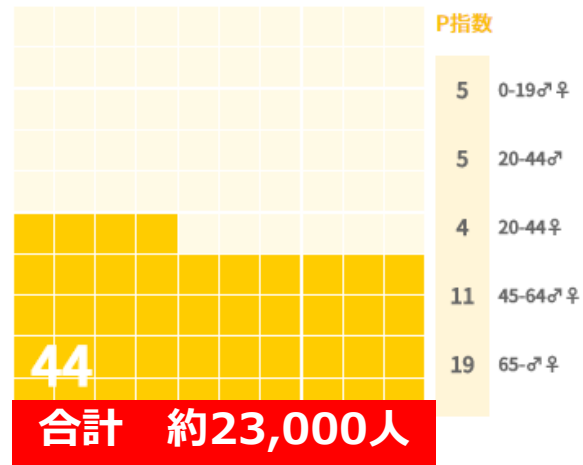
合計約51,000人

人口減少対策

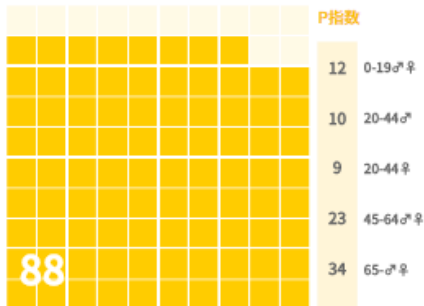


参考（2014年実績値）
転入者数（20-49歳）613人
転出者数（15-24歳）425人

2060

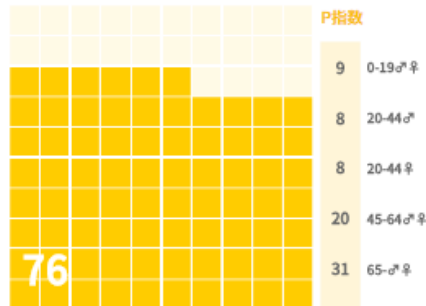


2020



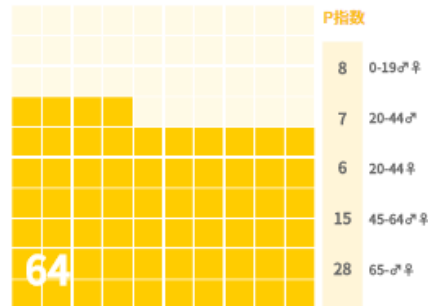
合計約45,000人

2030



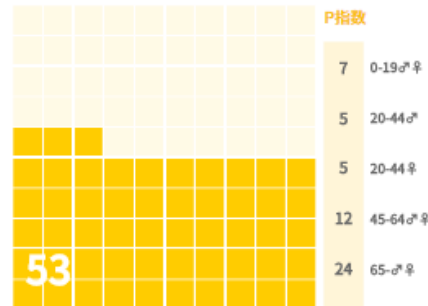
合計約39,000人

2040



合計約33,000人

2050

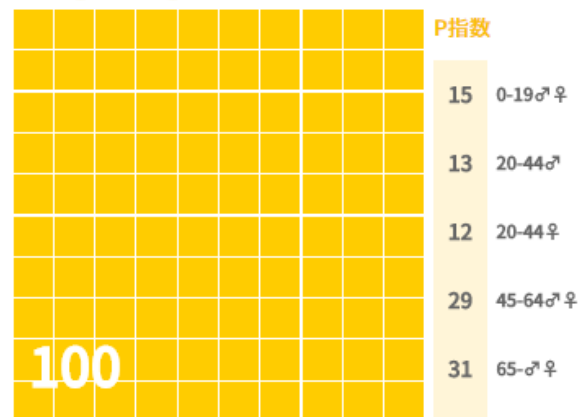


合計約27,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



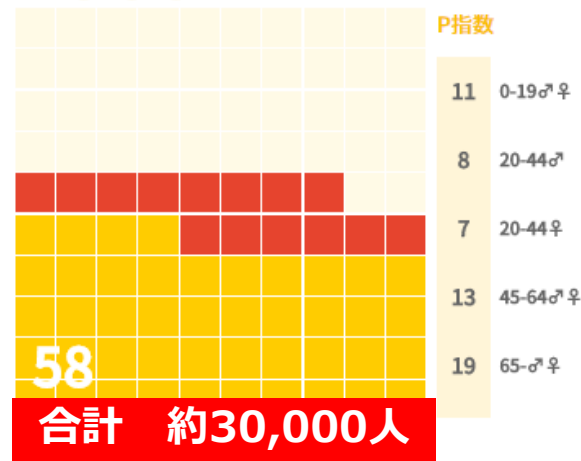
合計 約51,000人

人口減少対策

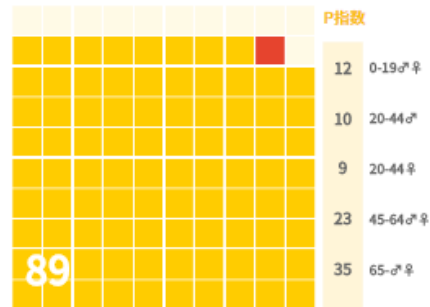


参考（2014年実績値）
 転入者数（20-49歳）613人
 転出者数（15-24歳）425人

2060

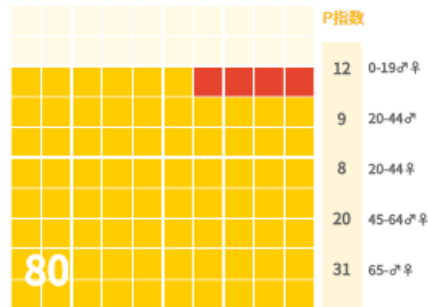


2020



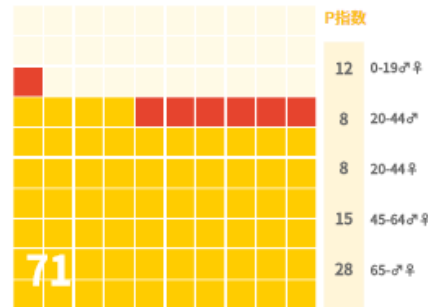
合計 約45,000人 → 46,000人

2030



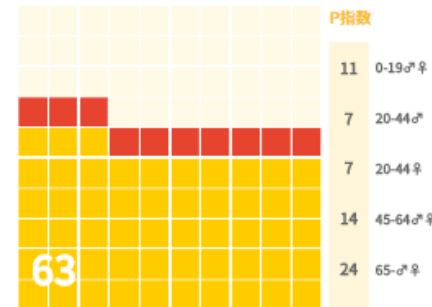
合計 約39,000人 → 41,000人

2040



合計 約33,000人 → 36,000人

2050

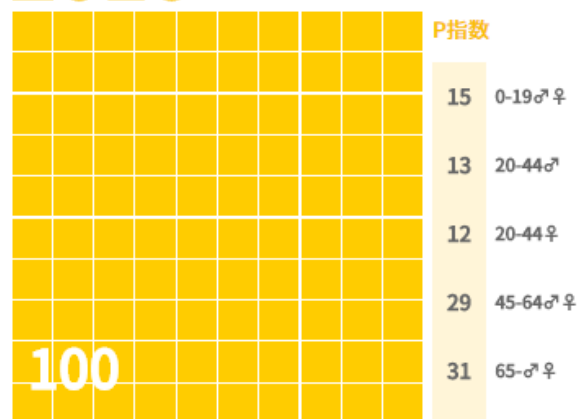


合計 約27,000人 → 32,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



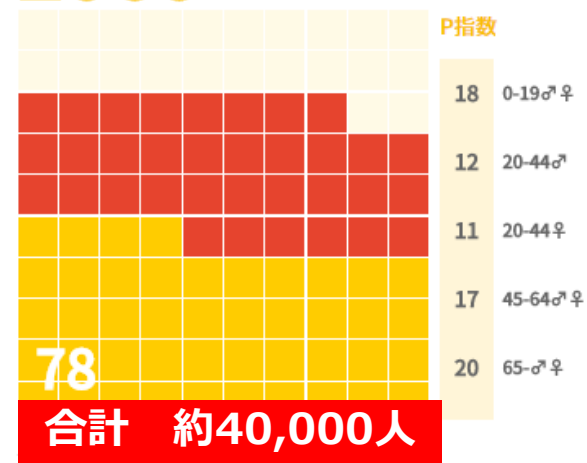
合計約51,000人

人口減少対策

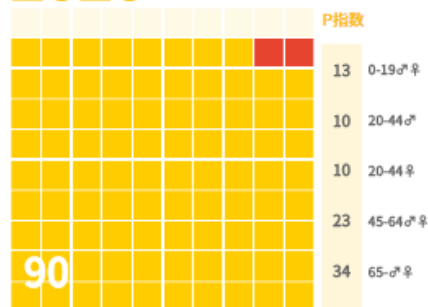


参考（2014年実績値）
 転入者数（20-49歳）613人
 転出者数（15-24歳）425人

2060

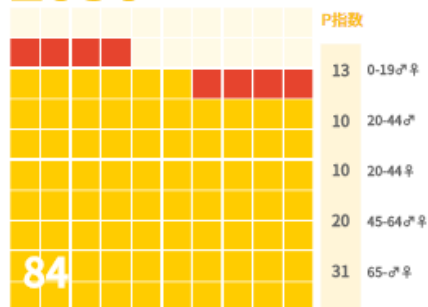


2020



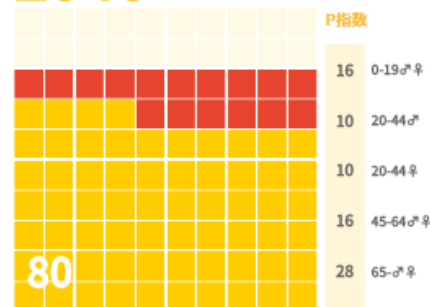
合計約45,000人 → 46,000人

2030



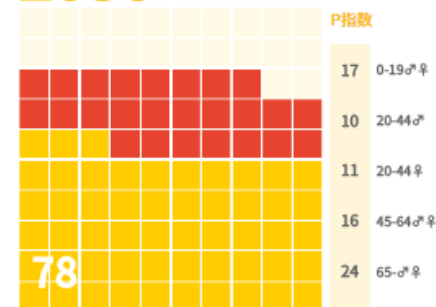
合計約39,000人 → 43,000人

2040



合計約33,000人 → 41,000人

2050

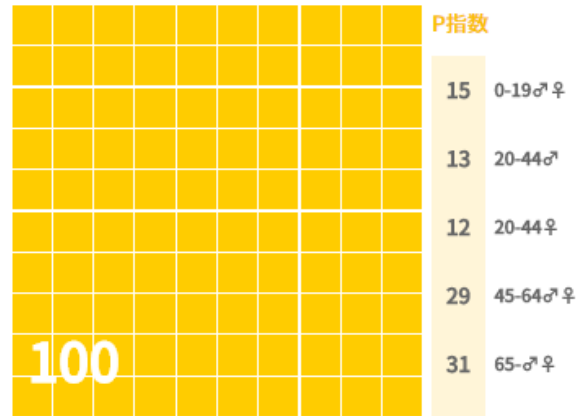


合計約27,000人 → 40,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



合計約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率を

2.10

にする

転入者数（年間）を

180人

増やす

転出者数（年間）を

180人

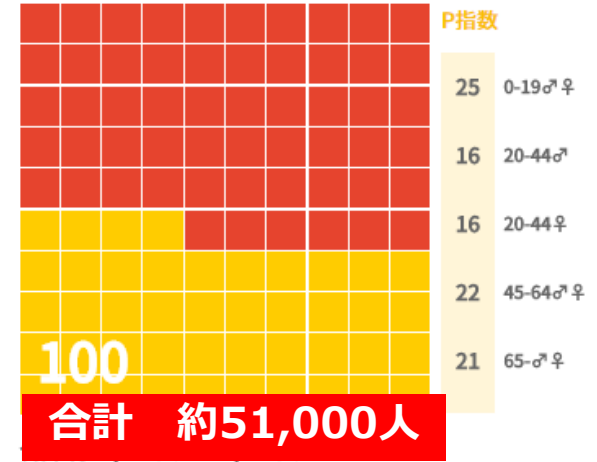
減らす

参考（2014年実績値）

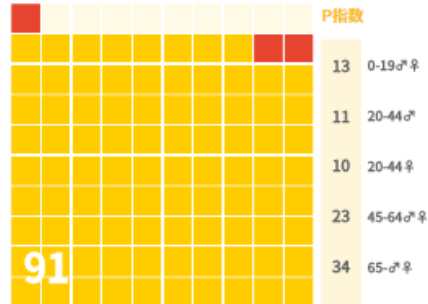
転入者数（20-49歳）613人

転出者数（15-24歳）425人

2060

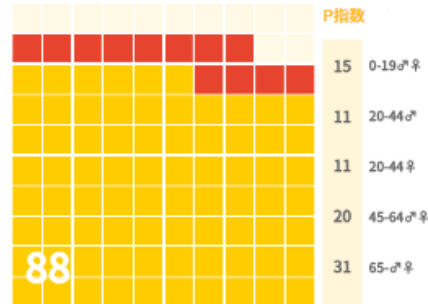


2020



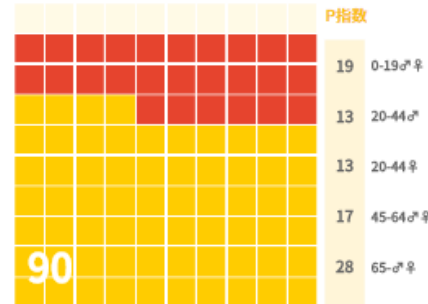
合計約45,000人 → 47,000人

2030



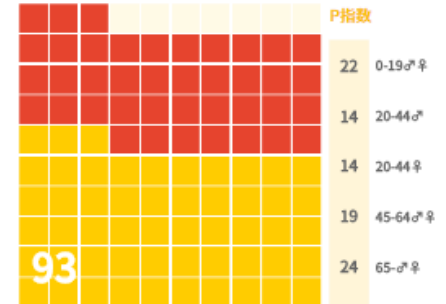
合計約39,000人 → 45,000人

2040



合計約33,000人 → 46,000人

2050

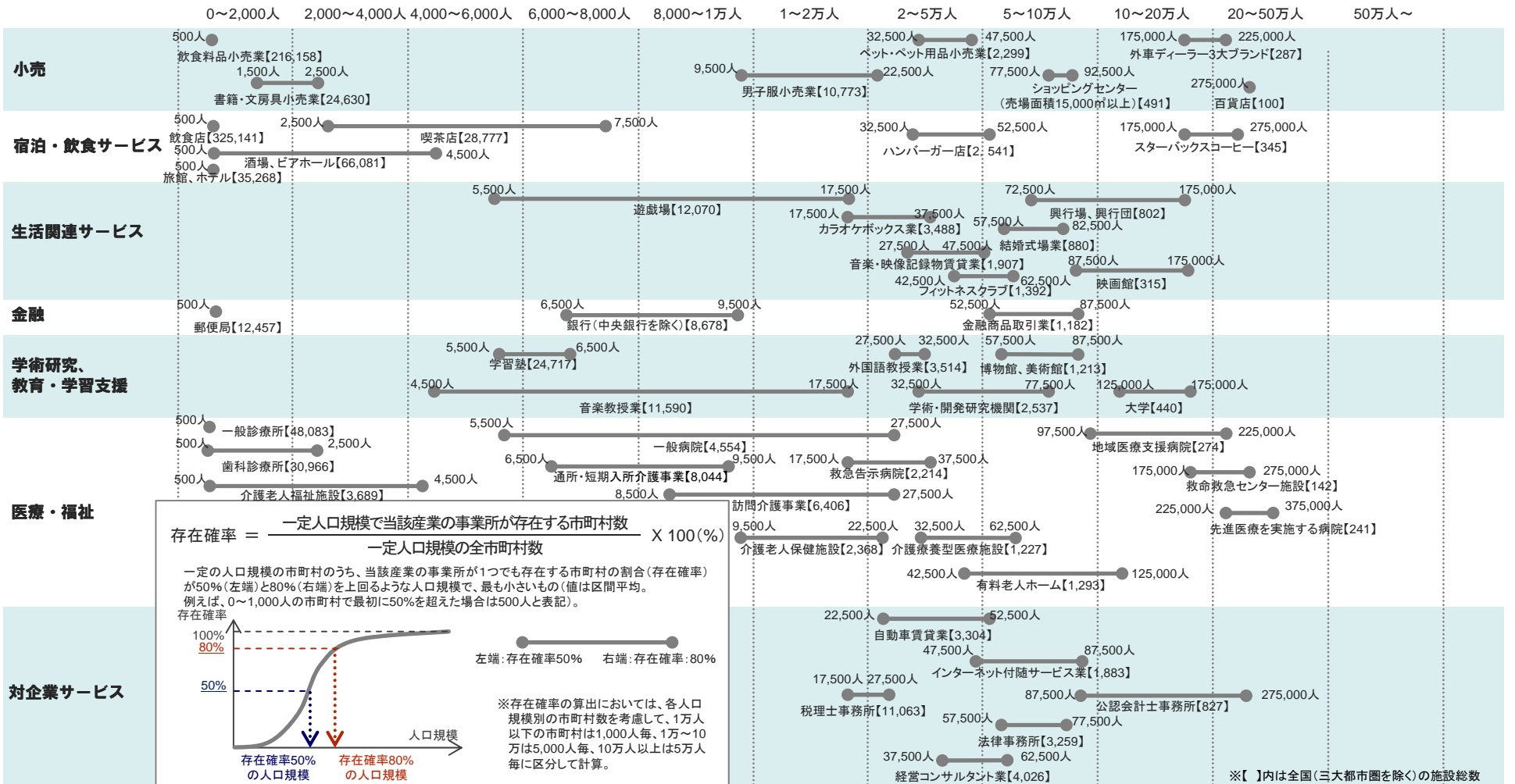


合計約27,000人 → 48,000人

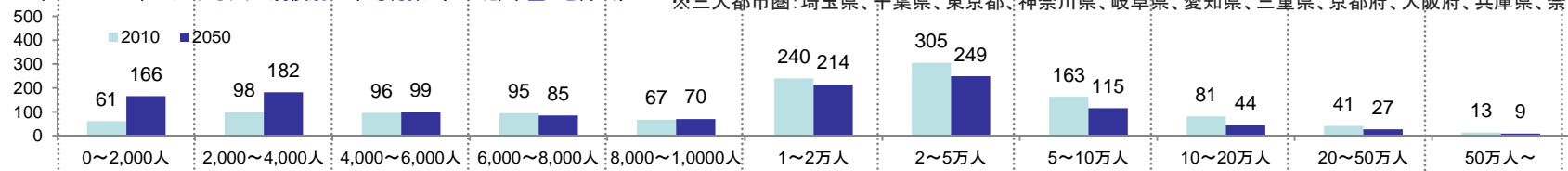
人口規模別各市の状況

人口区分	市名	住民基本台帳人口 (H25. 3. 31)	普通会計職員数 (H25. 3. 31)	人口1万人当たり職員数 (普通会計)	標準財政規模 (平成25年度) 千円	市税 (平成25年度) 千円	歳出総額 (平成25年度) 千円
50,000人規模	氷見市	51,885	385	74.20	12,959,364	5,452,437	23,888,575
	長久手市(愛知県)	51,806	385	74.32	9,741,803	9,743,357	18,683,412
	諏訪市(長野県)	51,439	412	80.09	11,375,641	7,659,466	19,462,883
40,000人規模	魚津市	44,176	301	68.14	10,460,793	6,404,374	17,315,188
	小松島市(徳島県)	40,815	355	86.98	9,028,619	4,295,852	15,053,960
	米原市(滋賀県)	40,577	378	93.16	13,172,181	6,223,927	19,429,882
30,000人規模	小矢部市	31,838	230	72.24	8,108,376	4,164,863	15,536,419
	あわら市(福井県)	29,869	254	85.04	8,620,102	4,832,622	14,664,308
	大町市(長野県)	29,767	301	101.20	10,958,286	4,098,833	16,502,696
20,000人規模	羽咋市	23,311	152	65.21	6,610,047	2,692,405	12,335,836
	勝浦市(千葉県)	20,112	217	107.90	5,012,954	2,142,457	10,978,779
	津久見市(大分県)	19,920	208	104.42	5,679,310	2,344,085	9,906,288

サービス施設の立地する確率が50%及び80%となる自治体の人口規模 (三大都市圏※を除く) 国土交通省



(参考) 2010年と2050年における人口規模別の市町村数 (三大都市圏※を除く)



(注1) 2050年の市町村別人口は、国土交通省国土政策局推計値
(注2) 2010年、2050年ともに、人口規模別の市町村数は、平成22(2010)年12月1日現在の三大都市圏を除く1,260市区町村を基準に分類

(出典) 総務省「平成21年度経済センサス」、厚生労働省「医療施設調査 病院報告(平成24年10月)」、同「介護サービス施設・事業所調査(平成24年10月)」日本救急医学会HP、wellnes HP、日本ショッピングセンター協会資料、日本百貨店協会HP、メルセデスベンツ・フォルクスワーゲン・BMW各HP、スターバックスコーヒージャパン資料をもとに、国土交通省国土政策局作成